

# ★ 佐渡市スポーツ振興計画

## 第1章 生涯スポーツ社会の実現を目指して

### 1 意義

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な育成に不可欠なものであり、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことは、次のような社会的な意義があると考えられます。



少年少女スポーツ教室

#### (1) 地域社会の活性化

地域における人間関係の希薄化が問題となっている中、地域でのスポーツ活動は、地域の人々の絆を深め、世代を超えた交流の機会となり、新たな地域の活性化につながることを期待できます。特に、子育てに悩む若い親たちや、高齢者、障がい者を社会的孤立から守り、市民が信頼し合って暮らせる地域づくりのために、スポーツの振興は大きな役割を果たすことができます。

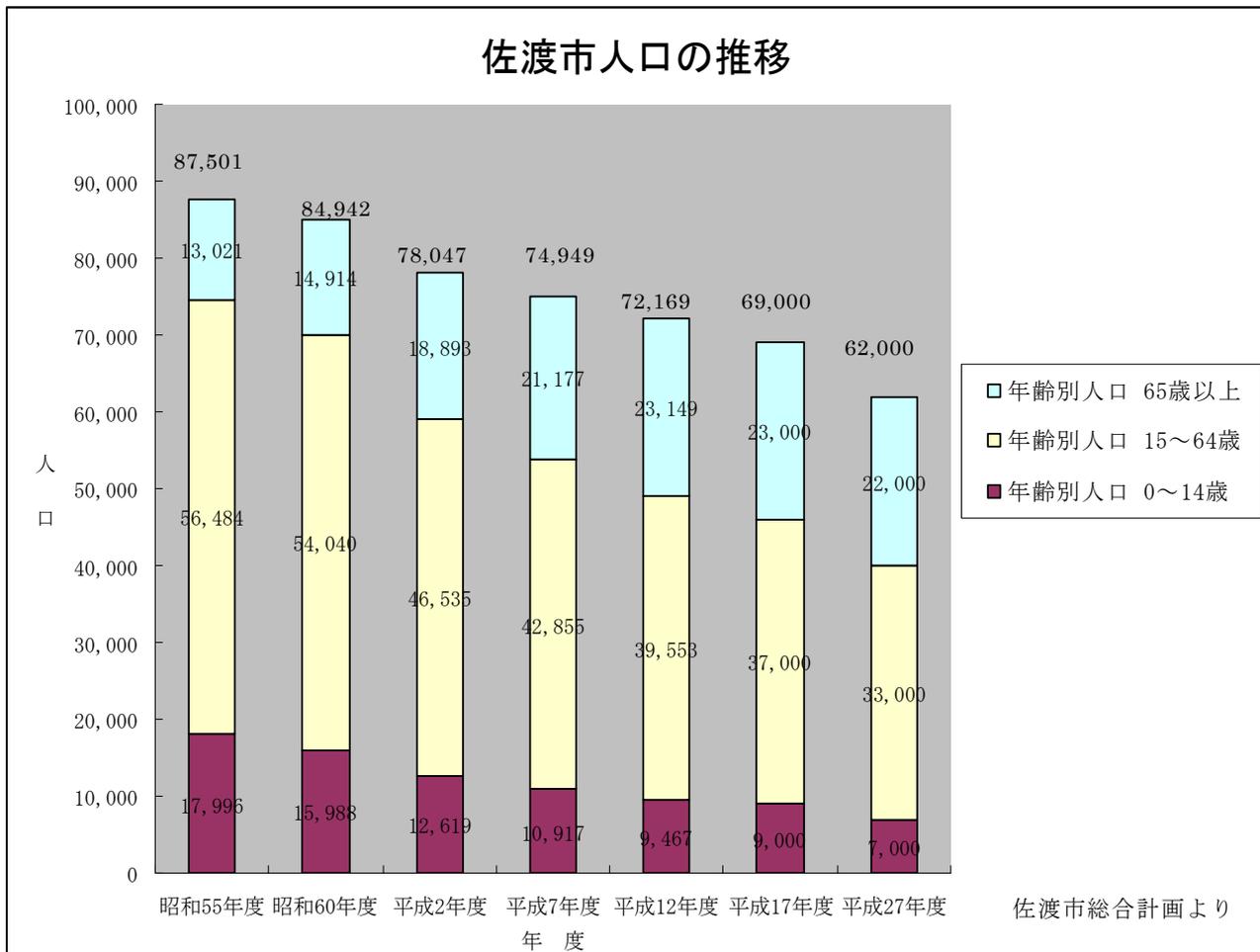
## (2) 青少年の心身の健全育成

地域や家庭の教育力が低下していると言われていています。また、屋外での遊びの機会が少なく、仲間や地域とのふれあいの減少や成長期に必要な体力の不足が叫ばれています。青少年がスポーツに打ち込むことは、互いにルールを定め守ったり、マナーを尊重したりする中で、正義感や倫理観を養い、思いやりの心を育むなどの、教育的な効果が十分に期待できます。また、幼児期の遊び、学校や地域でのスポーツ活動の充実は、心の安定をもたらすことができ、青少年の健全育成に大きく寄与します。

## (3) 市民の健康の保持増進

高齢化が進行するとともに、中高年の生活習慣病が増加しています。地域のスポーツ活動に参加することは、ストレスから開放され、心のケアや生きがいづくりに極めて有効です。特に、高齢者のスポーツを通じた社会参加は、体験や経験の伝承面からも社会にとっては有意義です。また、高齢者の健康づくりのための運動やスポーツ活動は、結果として医療費の節減や介護予防につながります。

以上のようなスポーツの意義や役割を認識し、市民一人一人がより活力に満ちた日常生活をおくるため、スポーツ活動を主体的に親しめる環境づくりや基盤整備を進めるとともに、スポーツの振興を図る必要があります。



## 2 計画策定の趣旨

最近は、生活の利便性による運動機会の減少、自由時間の増加から健康に対する市民の意識が高まり、スポーツへのニーズも多様化しています。

一方では、少子化、高齢化等による地域での人間関係の希薄化が見られ、地域での子ども同士の繋がりや子どもを育てる仕組みが変わってきており、精神的にも安定しない状況下に有ることは確かです。

このように様々な問題点がありますが、スポーツは、多様な役割や意義を有することから、日常生活や精神衛生には欠かせないものと考えます。

そこで、スポーツをみんなの共通な文化と位置づけ、日常生活の中に「生涯スポーツ社会」を実現するために、佐渡市スポーツ振興計画を策定します。



フラダンス教室

総合型地域スポーツクラブ（元気<sup>x2</sup> トキめきクラブ）

### ※ 「生涯スポーツ」

誰もが生涯の各時期(ライフステージ)にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでも自発的にスポーツに親しむことを意味します。

生涯スポーツは、競技やレクリエーション、あるいは健康・体力づくりというように様々な目的や楽しみ方があります。「する」・「みる」(観戦など)・「支える」(応援する、運営する、教えるなど)など、様々な関わり方があります。

### 3 計画の位置づけ、性格

本計画は、「スポーツ振興法」「スポーツ振興基本計画」「新潟県県民スポーツ振興プラン」「佐渡市総合計画」「佐渡市生涯学習推進計画」等との整合性を図りながら、佐渡市のスポーツ環境を把握し、将来のあるべき姿を展望して具体的な推進方策を定め、スポーツの振興を図るものです。佐渡市スポーツ振興計画は、以下に示す内容を基本方針として策定します。また、佐渡市生涯学習推進計画の「生涯学習の島づくり」に位置する「スポーツに親しみ心身共に活力を生む健康な島」を具現化するものとします。

- (1) 「佐渡市総合計画」「生涯学習推進計画」との整合性を持つことを前提に策定します。
- (2) 平成17年度の佐渡市生涯学習に関する意識調査の結果に基づき、市民の意見や要望を重視して策定します。
- (3) 教育行政の必須課題、市民の生活課題、環境問題等、今日の問題に正対しスポーツ振興事業として継続を図ったり、新たな事業を興したりする計画をたてます。
- (4) 合併前から実施してきた10地区の事業を大切にし、地域の活性化を図ります。また、市全体として統一して行う事業、広域に実施する事業も併せて検討し、合併したことの意義を見出せるようにします。



バスケットボール大会

## 4 計画の目標

市民の誰もがそれぞれの体力、技術、年齢、趣味など目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を推進します。

### 平成29年度までの到達目標

- スポーツを通じて、世代間の交流を深め、市民相互の理解と連携・協力体制を築きます。
- 子どもから高齢者までの様々なスポーツニーズに対応できるスポーツ環境の充実や施設の有効利用及びスポーツ活動の充実を推進します。
- スポーツに関する情報をいつでも手軽に入手・発信できるような情報提供の仕組みの充実を図ります。

成人のスポーツ実施率を50%に引き上げることを目指します。

### ※ 「スポーツ実施率」

1週間に1回以上何らかのスポーツを行う割合を言います。



太極拳教室

## 5 計画の期間

この計画は、平成20年度（2008年）を初年度とし、目標年度を平成29年度（2017年）とします。また、この計画は、市民の要望やその時々の方々の社会の動向に即した柔軟な対応を図るとともに、佐渡市スポーツ振興審議会において評価し、必要に応じて見直しを行いながら、弾力的に展開されることを想定しています。



バレーボール大会

### ※ 「スポーツの範囲」

スポーツ振興法において、『「スポーツ」とは運動競技及び身体運動(キャンプ活動その他の野外活動を含む。)であって、心身の健全な発達を図るためにされるものをいう。』と定義されています。

本計画書においては「スポーツ」や「スポーツ活動」あるいは「スポーツ振興」として表現している場合は、原則として運動競技及び身体運動の両方を含めた意味で表しています。しかし、ルールや決まりに則り行う競技スポーツやレクリエーション活動などを「スポーツ」と表現し、軽い体操や散歩など体を日常生活で必要とする以上に動かすことや、健康のために行う水泳などを含む身体活動を「運動」として区別して表現しているところもあります。

## 6 スポーツ振興推進体系図

# S

s u p p o r t

### サポート「支える」

- 施設の整備と充実
- 指導者の確保、養成
- スポーツ活動の啓発と広報体制の充実

# A

a c c o m p a n y

### アカンパニー「一緒に行く」

- 地域の活性化
- 佐渡の特色を生かしたスポーツの充実

# D

d o

### ドゥ「する」

- 幼児期からスポーツに親しむ環境づくり
- 定期的な運動・スポーツ実施率の向上
- 高齢者のスポーツ推進
- 障がい者のスポーツ推進

# O

o r g a n i z e

### オーガナイズ「組織する」

- 事業と運営する組織の充実
- 選手育成のシステムづくり